

収 受	
令和	-3.6.28
環境第 環境第	471-28 号
吹田市	

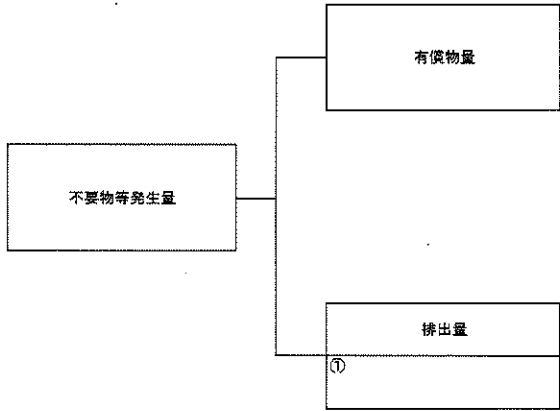
様式第二号の九（第八条の四の六関係） （第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
2021年 6月 25日			
吹田市長 様			
提出者			
住所 大阪市中央区城見1-2-27クリスタルタワー10F			
氏名 旭化成ホームズ(株) 関西・西日本営業本部 技術部長 大西 悟			
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）			
電話番号 06-6942-8987（担当： ）			
<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2020年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。</p>			
事業場の名称	旭化成ホームズ株式会社 関西・西日本営業本部 吹田市管轄内事業場		
事業場の所在地	吹田市管轄区域内		
事業の種類	06 総合工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	2020年4月1日～2021年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,483 t	全処理委託量	1483 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	312 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	1483 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

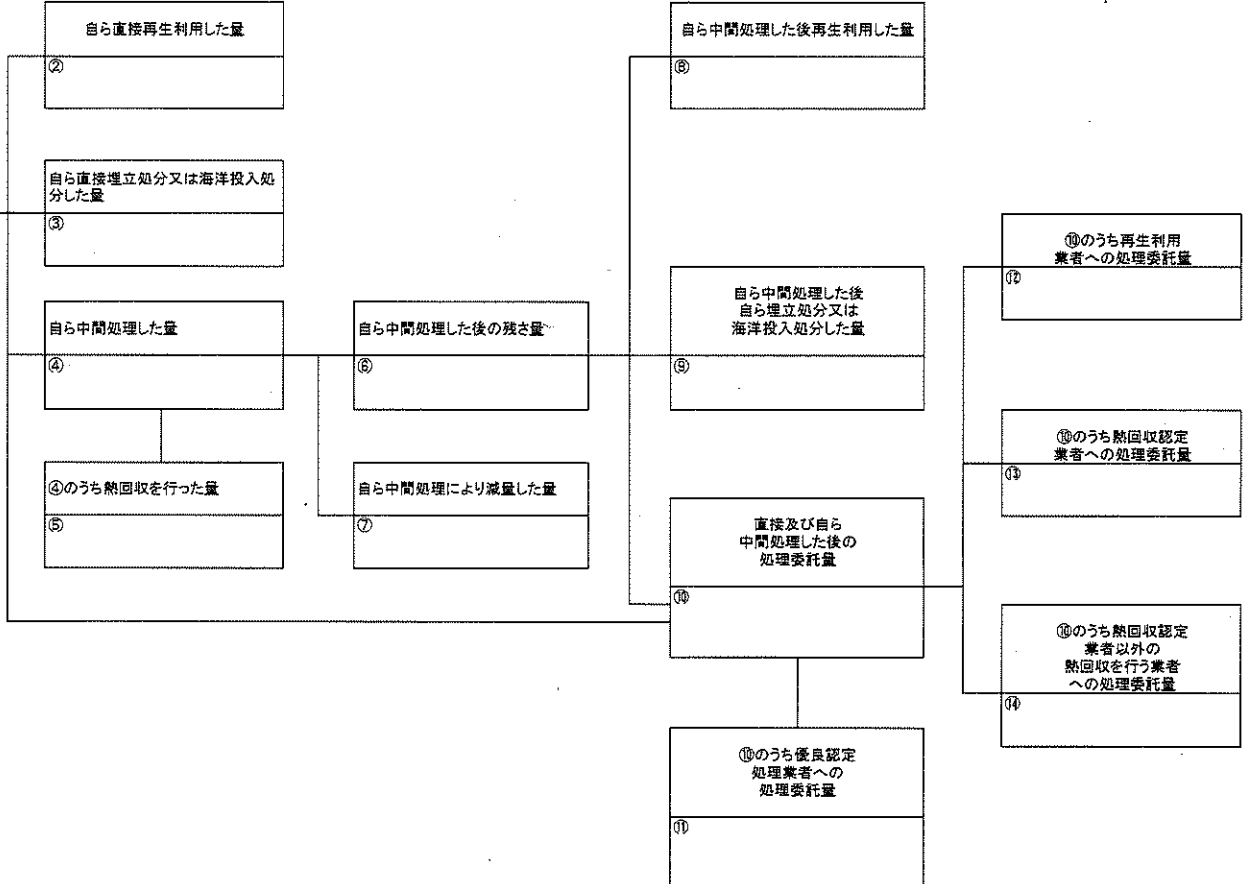
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: )

別紙3のとおり



項目	実績値
①排出量	
②+⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	



(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙3(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画実施状況報告書)

(令和2年度実績)

単位:トン/年

産業廃棄物の種類	計 画 の 実 施 状 況												②+⑧ 自ら再生利 用を行った 量	③+⑨ 自ら埋立処 分又は海洋 投入処分を 行った量	
	①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又 は海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤④のうち 熱回収を行 った量(自ら 熱回収を行 った量)	⑥自ら中間 処理した後 の残存量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間 処理した後 自ら埋立処 分又は海洋 投入処分し た量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量 (全処理委 託量)	委託先による区分				
コード	名称									⑪ ⑩のうち 優良認定 処理業者へ の処理委託 量(優良認 定処理業者 への処理委 託量)	⑫ ⑩のうち 再生利用 業者への処 理委託量 (再生利用 業者への処 理委託量)	⑬ ⑩のうち 熱回収認 定業者への 処理委託量 (熱回収認 定業者への 処理委託量)	⑭ ⑩のうち 熱回収認 定業者以外 の熱回収を 行う業者へ の処理委託 量(熱回収 認定業者以 外の熱回収 を行う業者 への処理委 託量)		
1501	コンクリート破片	188.404					0.000		188.404	0.888	188.404			0.000	0.000
1502	アスコン片	13.320					0.000		13.320		13.320			0.000	0.000
1500	がれき類	47.840					0.000		47.840	19.680	47.840			0.000	0.000
1300	ガラスくず・コンク リートくず及び陶磁 器くず	18.750					0.000		18.750	6.750	18.750			0.000	0.000
600	プラスチック	0.940					0.000		0.940	0.440	0.940			0.000	0.000
1200	金属くず	22.500					0.000		22.500	1.500	22.500			0.000	0.000
2010	安定型建設混合廃 棄物	3.200					0.000		3.200		3.200			0.000	0.000
2440	がれき類(石綿含 有産業廃棄物)	32.560					0.000		32.560					0.000	0.000
700	紙くず	0.300					0.000		0.300	0.300	0.300			0.000	0.000
800	木くず	83.710					0.000		83.710	31.900	83.710			0.000	0.000
1322	石膏ボード	5.177					0.000		5.177	1.550	5.177			0.000	0.000
2022	解体系混合廃棄物	14.066					0.000		14.066	7.020	14.066			0.000	0.000
910	建設工事の機雑く ず	0.240					0.000		0.240		0.240			0.000	0.000
2420	ガラスくず・コンク リートくず及び陶磁 器くず(石綿含有産 業廃棄物)	2.000					0.000		2.000	2.000				0.000	0.000
							0.000							0.000	0.000
							0.000							0.000	0.000
							0.000							0.000	0.000
							0.000							0.000	0.000
							0.000							0.000	0.000
							0.000							0.000	0.000
							0.000							0.000	0.000
							0.000							0.000	0.000
							0.000							0.000	0.000
							0.000							0.000	0.000
							0.000							0.000	0.000
							0.000							0.000	0.000
							0.000							0.000	0.000
							0.000							0.000	0.000
							0.000							0.000	0.000
							0.000							0.000	0.000
合計		433.007	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	433.007	72.028	398.447	0.000	0.000	0.000	0.000

※上記に分類できない産業廃棄物がある場合に限り、空欄へその産業廃棄物のコード及び具体的な名称を記入してください。  
 ※数量に関しては、小数点以下3桁表示として記入してください。  
 様式第二号の九の第2面に記載された産業廃棄物の発生から処理までのフロー(①~⑭)に示す量を表に入力。